



声援送った
高校野球の熱闘

7月25日、県立鴨池野球場(鹿児島市)で「第100回全国高等学校野球選手権記念鹿児島大会」の決勝戦が行われ、鹿屋中央高校が甲子園の切符をかけ、鹿児島実業高校と対戦しました。球場や市役所に集まった大応援団が声援を送りましたが、惜しくも敗退。同大会では鹿屋農業高校もベスト4に初進出するなど、球児の健闘は市民に夢を与えました。



上小原少年団が
バレーの全国大会へ

7月20日、上小原バレーボールスポーツ少年団の選手らが市役所を訪問しました。これは6月に鹿児島市と霧島市で行われた「第38回全日本バレーボール小学生大会鹿児島県大会」混合の部で優勝し、8月の全国大会出場を決めたことによるもの。五閑愛翔主将(上小原小6年)は、「県代表として最後の1球まで全力でプレーしたい」と語りました。



平南分団と野里分団
が準優勝

7月29日、霧島ヶ丘公園で肝属支部消防操法大会が開催されました。これは、消防技術の向上や士気の高揚などを目的に2年おきに行われているもので、肝属地区2市4町の代表が参加。鹿屋市からは小型ポンプの部に平南分団と高尾分団、ポンプ車の部に野里分団と市成分団が出場し、平南分団と野里分団が準優勝を収めました。



待望の畑かん用水
荒瀬ダムが通水開始

7月21日、荒瀬ダム(肝付町)で、通水式が行われました。これは、国の畑かん事業として平成9年に着工された同ダムが完成したことから、関係者を招いて実施されたもの。荒瀬ダムからは鹿屋市南部と肝付町に農業用水が供給されるため、当該地域における農業の生産性向上・安定と、収益性の高い野菜の作付けなどの効果が期待されています。



6人の新規就農者に
開始資金贈呈

7月24日、市役所で「就農開始資金贈呈式」が行われました。市の農業研修を終え、今年度、吾平町内でピーマン農家として独立した6人の新規就農者たちの、活躍が期待されます。



地域との交流を深める
夏の恒例行事

7月25日、星塚敬愛園で「第40回夏祭り納涼大会」が開催されました。会場では、同園職員の演芸披露や歌手の千昌夫さん・西田あいさんによる歌謡ショーなどが催され、観客を盛り上げました。



外国人の視点を
日本語のスピーチで

7月15日、東地区学習センターで「外国人による日本語弁論大会in鹿屋」が開催されました。大隅に住む9か国15人の外国人が参加し、笑いや感動を交えてそれぞれの思いを発表しました。



DHCと包括連携
協定締結

7月19日、市役所で、市と株式会社ディーエイチシー(DHC)との「包括連携協定締結式」が開催されました。これは化粧品や健康食品の製造・販売で知られるDHCと、地域産業の活性化やシティプロモーションなどについて相互に連携・協力するもの。今後はお互いのノウハウを生かした地域活性化への取り組みが期待されます。



マウンテンバイクを楽
しむ霧島ヶ丘の新名所

7月29日、霧島ヶ丘公園で「マウンテンバイクパーク」オープニングセレモニーが開催されました。コース説明等のおこなわれた走り初めには、県内外から約150人が参加。起伏のあるコースでの走りを満喫しました。同パークは土・日曜日・祝日に営業しているほか、自転車の貸し出し(有料)もあり、初心者や家族連れでも楽しむことができます。



九州ロードレース選手権
で優勝の快挙

7月18日、彌栄郡選手(西原小6年)と監督が市役所を訪れました。最高時速220kmのオートバイを操り、4月の九州ロードレース選手権で優勝した彌栄さんの活躍から目が離せません。



鹿屋航空基地史料館が
開館から25周年

7月28日、市内ホテルで「鹿屋航空基地史料館25周年記念式典」が開催されました。この日は、同館展示の零戦の復元などに携わった平山助成氏の講演などがあり、式典に華を添えました。



スマート農業研究会で
未来の農業を考える

7月23日、市役所で「第1回かのや型スマート農業研究会」が開催されました。生産者や団体関係者が集まり、ICT等を活用した農業の可能性について、意見を交わしました。



台小アタッカーズが
ドッジの全国大会へ

7月23日、西原台小学校の児童からなる台小アタッカーズの選手らが、市役所を訪問しました。これは7月7日に開催された「第28回全日本ドッジボール選手権鹿児島県大会」で優勝し、8月の全国大会出場を決めたことから行われたもの。主将の吉元翔皇さん(6年)は、「今回で4回目となる全国大会出場。しっかりと結果を残したい」と語りました。



歴史がつなぐ4市で
平和ツーリズム連携

7月28日、市役所で、「空がつなぐまち・ひとつづくり推進協議会設立総会」が開催されました。これは、旧海軍航空隊にゆかりのある鹿屋市、兵庫県加西市・姫路市、大分県宇佐市の4市が民間グループとも連携し、戦跡などを生かした観光振興や地域活性化を目指すもの。今後は4市で力を合わせ、平和ツーリズムの普及などに取り組んでいきます。